

産学官連携で続々と成果

西日本を代表するモノづくりの街・北九州市が新たな成長を加速して誘致した「北九州市新成長戦略」が積極度となるる目を迎えた。3年間で1万人の雇用創出などを伴い、産学官、街づくり、産の6次元化を推進し自給自足型に育てる。日刊工業新聞は2015年10月に創刊100周年を迎える。これを記念して北九州市の産学官の代表者を集めて産学官を推進、地域の今と未来を議論した。

誘致優遇策は破格で 北橋氏 人が集まる仕掛けを 松永氏



松永 守央 学長

北橋 日本を代表する産学官連携として発展した産学官連携。充実した都市・産学官連携や、エコウィングに代表される環境産業・技術の集積地。理工系学生の育成も厚い。また企業の本社機能が少ないため、優秀な学生はいつでも本社機能に集まる。首都圏に取られてしま

―新成長戦略を策定 「リノベーション」は3年目を迎える。これまで注目される成長産業を数えていく。功を挙げた。海
北橋 20年度市内 外でもベトナム・ハイ
総生産を4割増し、市フラン中を高給水処
民所得を政令指定都市 理院の導入を促進
下位から中位に、3年 後の課題は1
面での1万人の新雇用用いては、製造業の誘致
の創出が目標だ。安倍 通商産業など産学官好
策三政策の経済政策 調子企業が多い「方
」アベノミクス効果で、利・小企業も通商
やクリエーション国際 松永の引き上げは「安
戦略総合特区を生かし 影響はなる回復が速
て13・14年度の2年開 れている業種もある。
で9173人の雇用を、まずは5000件のア
創出した。中でも地産 3000件のア
などの災害リスクが少 ニアリング調査を
ないことも重要だ。進んで市内企業の更
計画(BCC)として、を「かわり」開き、取
の地位性が向く評価 高評価を認めてしま
れ、アインテック九州 多岐の雇用を生み出
聖徳センター)もア ットしていきたい。

―5000件のア 出寸形、新成長戦略 がある多くの大学が議論 くりを進めるとはサ
ニースの福地市長が 北橋市長が「多岐 ンゲルや300社のビ
ドラン間で72件が地 成功事例をうかがい ングの狙いは、
し、15000人を雇用 ました。産業界から 北橋 民間回復や
な価値はいかにが べノミクスを推進でき 地産から人が集まる
政治市でも積極的に なる。

―誘致のインセン 分野の研究や大学の るとまた産官の再編が 戦略総合特区が
インセンティブは、 北橋 知の意思を 九州市の未来を考えた がなくならないため、
特に、研究分野に特 する必要性を再認識 する必要がある。財 がある。そのすは人材
は、投資が雇用を生 する。子供たちが等 しく成長できる。次 の手を交えた 携する産学官連
れは産官が形成でき 高まる。学校をつくる 学のレベルが産学 人材を確保するため 大
こと。産学官が集まり 人。その地には、産 業がなければならない。また、
北橋 研究をつく も増え、雇用も増える ことが大いなる。 まざまな仕掛けを
るべきだと考え、北 九州の地で研究開 できる人材を知覚も 実をどう取るのか、と
メカは、質の良い をしようという呼びが こと。集まる。企業 の「アベノミクス」
労働者や産官の協力 学校を呼び、企業を 呼ぶためのインセン 研究を多く受ける べきチャンスだ。大
た中小・産官企業を 活 ぶためのインセン 研究を多く受ける べきチャンスだ。大 学
用しようと考えた。 とは大事だ。そのため なければならない。そのた 輩出していく。

―産学官連携が なる。産学官連携 する。子供たちが等 しく成長できる。次 の手を交えた 携する産学官連
れは産官が形成でき 高まる。学校をつくる 学のレベルが産学 人材を確保するため 大
こと。産学官が集まり 人。その地には、産 業がなければならない。また、
北橋 研究をつく も増え、雇用も増える ことが大いなる。 まざまな仕掛けを
るべきだと考え、北 九州の地で研究開 できる人材を知覚も 実をどう取るのか、と
メカは、質の良い をしようという呼びが こと。集まる。企業 の「アベノミクス」
労働者や産官の協力 学校を呼び、企業を 呼ぶためのインセン 研究を多く受ける べきチャンスだ。大
用しようと考えた。 とは大事だ。そのため なければならない。そのた 輩出していく。



北橋 健治 市長

―誘致のインセン 分野の研究や大学の るとまた産官の再編が 戦略総合特区が
インセンティブは、 北橋 知の意思を 九州市の未来を考えた がなくならないため、
特に、研究分野に特 する必要性を再認識 する必要がある。財 がある。そのすは人材
は、投資が雇用を生 する。子供たちが等 しく成長できる。次 の手を交えた 携する産学官連
れは産官が形成でき 高まる。学校をつくる 学のレベルが産学 人材を確保するため 大
こと。産学官が集まり 人。その地には、産 業がなければならない。また、
北橋 研究をつく も増え、雇用も増える ことが大いなる。 まざまな仕掛けを
るべきだと考え、北 九州の地で研究開 できる人材を知覚も 実をどう取るのか、と
メカは、質の良い をしようという呼びが こと。集まる。企業 の「アベノミクス」
労働者や産官の協力 学校を呼び、企業を 呼ぶためのインセン 研究を多く受ける べきチャンスだ。大
用しようと考えた。 とは大事だ。そのため なければならない。そのた 輩出していく。

研究開発が人を呼ぶ 利島氏

北九州市座談会

- 出席者
- 北九州市長 北橋 健治氏
 - 北九州商工会議所会頭 利島 康司氏
 - 九州工業大学学長 松永 守央氏
- 《司会》
日刊工業新聞社執行役員西部支社長 長野 光博

